

2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|-------------|-----------------|--|----------------------|---|---------------|
| 科 目 名 | 生体機能学 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 視聴覚室 |
| 担 当 教 員 | 山本 光信、竹内 充香 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>看護実践の根拠となる基礎的な正常人体の構造と機能,およびその学術用語を学ぶ。人体の構造と機能は体の正常な生体機能に関する学問であり、医学に携わる人間全般の基礎科目として重要である。生体機能学 I では、生命を維持する植物機能の呼吸・循環・血液を中心に学習する。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験(100%) ※評価割合 人体の構造(20%)、呼吸器(30%)、血液(10%)、循環器(40%)</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>人体の構造と機能〔I〕解剖生理 (医学書院)</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>教科書やプリントを読んで理解しながら覚える。わからないことは調べ、授業で学習した要点をまとめる。</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>各部位や器官の名称については確実に覚えること。機能については系統的に理解していき、病態と治療の講義の前に復習しておくこと。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 人体を構成する細胞の構造,それらの集合体である組織や器官の特徴とその構造を説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み,わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 人体【体表から触知する人体の構造,構造と区分,部位と器官,方向と位置を示す用語】について(竹内) | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 人体を構成する細胞の構造,それらの集合体である組織や器官の特徴とその構造を説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み,わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 細胞の構造の働きや組織の種類,特徴について(竹内) | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 人体を構成する細胞の構造,それらの集合体である組織や器官の特徴とその構造を説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み,わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 人体の恒常性と人体の器官系の機能について(竹内) | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器系の構造と働きが説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み,わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸器系の構造【鼻腔,喉頭】について(山本) | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器系の構造と働きが説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み,わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸器系の構造【上気道,下気道と肺,胸膜・縦隔】について(山本) | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|---|---|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器系の構造と働きが説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸【呼吸運動, 呼吸筋, 肺気量分画, 努力呼吸曲線, 呼吸気体のガス組成, 肺におけるガス交換, 酸素の取り込み, 血液中のガス組成】について(山本) | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器系の構造と働きが説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸【生体の酸塩基平衡, 呼吸中枢, 呼吸反射, 末梢性化学受容体, 中枢性化学受容体, 病的呼吸】について(山本) | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 血液, 組織液などの機能の説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 血液の機能【血液の成分, 血漿と血清, ヘマトクリット, 赤血球の形態・数, ヘモグロビン, 赤血球の新生と崩壊】について(竹内) | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 血液, 組織液などの機能の説明できる。 | 教科書 配布資料 視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 血液の機能【ABO式, 血液型, 血液の凝固, トロンビンの形成, フィブリンの形成, 血小板, 抗凝血物質, 血液のpH】について(竹内) | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。 | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心臓血管系の基礎、心臓の構造について(竹内) | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。 | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心臓の内腔と血液の流れ、弁、心臓の栄養血管、心臓の刺激伝導系について(竹内) | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。 | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 動脈系について(竹内) | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。 | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 静脈系について(竹内) | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。 | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 胎児の血液循環(胎児循環)、リンパ系、脾臓、胸腺について(竹内) | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。 | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心臓と血管の生理について(竹内) | | |